

理科の見方・考え方を働かせるための

指導方法の検討

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

本研究では、「未知なる問題に対して、あらゆる側面から自主的に問題解決しようとする児童」、「様々な物事に興味・関心をもち学び続けることができる児童」の育成を目的とし、授業実践を行った。授業実践では、児童が意識的に理科の見方・考え方を働かせられるようなキーワード・フォーマットの提示、授業における具体物の提示と実験の実施を手立てとした。また、理科授業を通して児童自身が自己の成長を実感できるよう、授業後に1枚ポートフォリオシート(OPPシート)に授業で学んだことや自分の変化について記入させた。授業では、作成したワークシートや実験・観察、教材を活用することによって、実験結果を比較したり、条件を考えながら実験計画を立てたりしている様子が見られた。また、授業後にOPPシートを活用した振り返りを行ったことで、振り返りの良さや自分自身の成長を実感することができた児童が多数見られた。